



平成28年7月11日

各 位

会 社 名 株式会社リョーサン
代表者名 代表取締役 社長執行役員
三 松 直 人
(コード番号：8140 東証第一部)
問合せ先 経営戦略室長 高橋 則彦
(TEL：03-3862-3816)

第9次中期経営計画における追加的な資本効率化施策のお知らせ

当社は、2016年7月11日開催の臨時取締役会において、現在進めている第9次中期経営計画に関連し、同期間に於ける追加的な資本効率化施策の概要を下記の通り決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 背景

当社は、2014年発表の第9次中期経営計画（2014年度～2017年度）において、「変革」と「成長」を基本姿勢に掲げ、「成長路線の再構築」に加えて、「資本効率の向上」を最重要課題として位置付けております。

「配当性向50%以上を目処とする漸増的な配当水準の維持」、「年間100万株を基準とする自己株買いの継続的な実施」を目標に掲げ、安定的な資本還元を継続。昨年度の東京証券取引所第1部上場30周年記念配当50円も加え、過去2年間の配当性向は70%を超える実績となっております。

当社としては、「成長路線の再構築」を通じた売上拡大と収益性向上により、同中期経営計画目標であるROE5%の達成を図る計画としておりますが、足元の当社を巡る経営環境等勘案、目標実現をより確かなものにする観点から、資本効率化施策の一層の拡充を図るものです。

今般の株主総会に於いて、当社は監査等委員会設置会社への移行に加え、執行役員制度の導入を機関決定いたしました。新たな体制においてコーポレートガバナンスコードの主旨を踏まえた経営監督機能の強化・適正化を実践して参ります。資本効率化はその重要課題として継続推進し、2018年度からスタートする次期中期経営計画では、更なる強化を図るべく、ROE8%実現を目標に施策の具体化を今後行う計画としております。

2. 基本方針

第9次中期経営計画期間中に於いて、①普通配当金配当性向の引き上げ、②特別配当の実施、③自己株買い実施規模の拡大、を骨子とする以下資本効率化施策の拡充を行います。

①2016年度普通配当金年間90円、2017年度100円

②特別配当年間50円以上

③年間自己株式の取得額75億円以上

【第9次中期経営計画資本還元実績・計画（本件後）】

	2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (計画)	2017年度 (計画)
1株当たり 配当金	90円 (普通配当90円)	140円 (普通配当90円) (記念配当50円)	140円 (普通配当90円) (特別配当50円)	150円 (普通配当100円) (特別配当50円)
自己株買い	13億円 (45万株)	47億円 (155万株)	75億円 (300万株) (*)	75億円 (300万株) (*)

(*) 1株2,500円として算定。

以 上